

あの除草剤が

ユニーク!

農家さんに20年も愛される除草剤「トツガン」。
「トツガンR」として、これからも確かな除草をサポートします。

共通



※WCS: 稲発酵粗飼料

※ジャンボ剤を除く

1キロ粒剤・フロアブル

豆つぶ250・ジャンボ



©水元あきつく



ナビエ



ホタルイ



コナギ



アゼナ

初・中期一発処理除草剤

トツガンR

1キロ粒剤 豆つぶ250 ジャンボ フロアブル

- 有効成分：ピリミノバクメチル…0.45% (1キロ粒剤)、1.8% (豆つぶ・ジャンボ)、0.83% (フロアブル)
プロモブチド…9.0% (1キロ粒剤)、36.0% (豆つぶ・ジャンボ)、17.0% (フロアブル)
ペンシルフロムメチル…0.75% (1キロ粒剤)、3.0% (豆つぶ・ジャンボ)、1.3% (フロアブル)
ペントキサゾン…2.0% (1キロ粒剤)、8.0% (豆つぶ・ジャンボ)、2.8% (フロアブル)
- 人畜毒性：普通毒 (毒劇物に該当しないものを指すという通称)

特長

- ノビエを始めとする水田一年生雑草からホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ、クログワイ、オモダカ等の多年生雑草を含む広範囲の雑草にも有効です。
- スルホニルウレア系除草剤抵抗性 (SU剤抵抗性) のホタルイ、アゼナ類、ミゾハコベ、コナギ等の雑草に高い効果を示します。
- 水稲に対する安全性が高く、1キロ粒剤およびフロアブルは田植同時処理が可能です。また、豆つぶ250およびジャンボは移植直後処理が可能です。
- 直播水稲に使用できます。

適用雑草及び使用方法

1キロ粒剤 (農林水産省登録 第24376号)

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ ヘラオモダカ、ヒルムシロ、セリ、オモダカ、クログワイ シスイ、アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	1kg	1回※	田植同時散布機で施用
		移植直後～ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで			田植同時散布機で施用
直播水稲	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ ヘラオモダカ、ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ3葉期 但し、収穫90日前まで	1kg	1回※	湛水散布

豆つぶ250 (農林水産省登録 第24377号)

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ ヘラオモダカ、オモダカ、クログワイ、シスイ ヒルムシロ、セリ、アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで	250g	1回※	湛水散布 湛水周縁散布 又は無人航空機による散布
		稲1葉期～ノビエ2.5葉期 但し、収穫90日前まで			湛水散布 湛水周縁散布 又は無人航空機による散布
直播水稲	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ2.5葉期 但し、収穫90日前まで	250g	1回※	湛水散布 湛水周縁散布 又は無人航空機による散布

ジャンボ (農林水産省登録 第24378号)

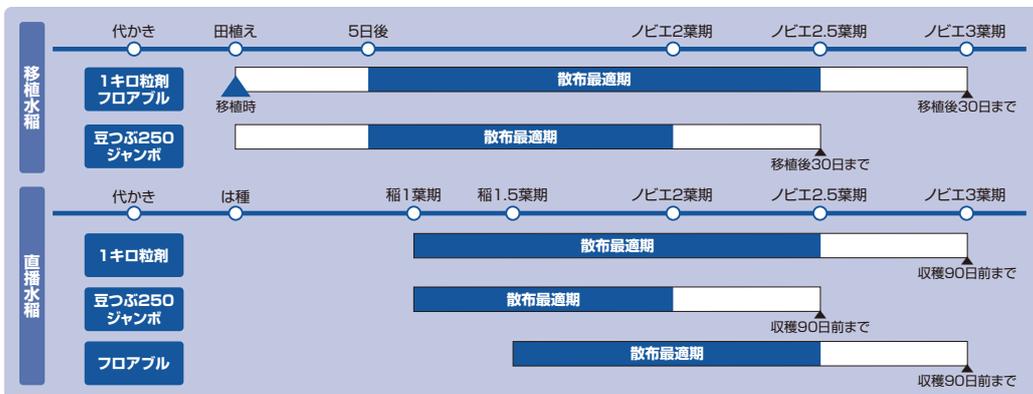
作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ ヘラオモダカ、オモダカ、クログワイ、シスイ ヒルムシロ、セリ、アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで	小包装 (10個) (250g)	1回※	水田に小包装(パック) のまま投げ入れる
		稲1葉期～ノビエ2.5葉期 但し、収穫90日前まで			水田に小包装(パック) のまま投げ入れる
直播水稲	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ2.5葉期 但し、収穫90日前まで	小包装 (10個) (250g)	1回※	水田に小包装(パック) のまま投げ入れる

フロアブル (農林水産省登録 第24379号)

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ ヘラオモダカ、ヒルムシロ、セリ、クログワイ オモダカ、シスイ、アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	500ml	1回※	田植同時散布機で施用
		移植直後～ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで			田植同時散布機で施用
直播水稲	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ミスガヤツリ	稲1.5葉期～ノビエ3葉期 但し、収穫90日前まで	500ml	1回※	原液湛水散布

※各有効成分を含む農薬の総使用回数：ピリミノバクメチル2回以内、プロモブチド2回以内、ペンシルフロムメチル2回以内、ペントキサゾン2回以内

標準的な使用時期



使用上の注意 (抜粋)

- 【共通】
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期まで (豆つぶ・ジャンボは2.5葉期まで) に時期を失ないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果がふれがらるので、必ず適期に散布してください。ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリは2葉期まで、ヘラオモダカは2葉期まで (豆つぶ250は発生前まで)、オモダカは発生前まで、クログワイは発生前まで (フロアブルは発生前)、シスイは草丈3cmまで、ヒルムシロは発生前まで、セリは再生発生前まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前が本剤の散布適期です。
 - オモダカ、クログワイ、シスイは発生期間が長く、遅い発生のもので十分な効果を示さないで、有効な後処理剤と組み合わせて使用してください。
 - 苗の植付けが均一となるように、代かきおよび植付作業はていねいにおこなってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいにおこなってください。
 - 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
 - 砂質土壌の水田および漏水田 (減水深が2cm/日以上)。
 - 軟弱苗を移植した水田。
 - 極端な浅水の水田および浮き苗の多い水田。
 - 直播水稲に使用する場合は以下に注意してください。
 - 発芽直後の稲に対して薬害が生じるおそれがあるので、適切な覆土を行い、稲の1葉期以降 (フロアブルは1.5葉期以降) に散布してください。
 - 稲の根が露出した条件下では薬害を生じるおそれがあるので使用をさけてください。
 - 除草効果の低下と生育抑制の薬害が発生するおそれがあるので、入水後水持ちの安定した後に散布してください。
 - 散布後の数日間に著しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがありますが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められていません。
 - 本剤を散布した水田の田面水を他の作物に灌水しないでください。
 - 河川、湖沼、地下水等を汚染しないよう、落水、かけ流しはしないでください。
 - 本剤はその殺草特性から、いくさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分に注意してください。

- 【1キロ粒剤】
- 散布の際は、水の出入りを止めて湛水のまま田面に均一に散布し、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態 (水深3～5cm) を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かにおこなってください。

- 【豆つぶ250・ジャンボ】
- 散布の際は、やや深めの湛水状態 (水深5～6cm) で水の出入りを止めてください。

- 【豆つぶ250】
- 湛水散布の場合は田面に散布し、また、湛水周縁散布の場合は水田周縁部に沿って帯状に散布し、散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態 (水深3～5cm) を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かにおこなってください。

- 藻類、表層はく離などの水面浮遊物が多い場合は、本剤の拡散が不十分になるおそれがあるので、周縁部散布を避け、本田内で水田全面に散布してください。

- 本剤は吸湿性があるので、濡れた手で作業したり、降雨で濡れることがないように注意してください。また、開封後は早め使用してください。
- 本剤を無人航空機で散布する場合は次の事項に注意してください。

- 散布は使用機種の使用基準に従って実施してください。
- 専用の粒剤散布装置によって湛水散布してください。
- 事前に薬剤の物理性に合わせて粒剤散布装置の開度を調整してください。
- 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から5m以上離して圃場内に散布してください。
- 水源池、飲料用水等に本剤が流入しないように十分注意してください。

- 【ジャンボ】
- 散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態 (水深3～5cm) を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かにおこなってください。
 - 本剤は小包装 (パック) のまま10アール当たり10個の割合で水田に均等に投げ入れてください。
 - 藻類、表層はく離などの水面浮遊物が多い場合は、本剤の拡散が不十分になるおそれがあるので、使用はさけてください。

- パックに使用しているフィルムは水溶性なので、濡れた手で作業したり、降雨で破袋することがないように注意してください。

- 【フロアブル】
- 散布の際は、湛水状態 (水深3～5cm) で水の出入りを止めて散布してください。また、極端な浅水や深水での使用はさけてください。

- 散布後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないように注意し、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かにおこなってください。

- 室に対して影響があるので、周辺の農薬にはかからないようにしてください。

- 散布器、ホース、ノズル、タンク等の器具は使用後速やかに十分に水洗し、洗浄液は水田内で処理してください。また、使用した機具等は水稲用薬剤以外に使用しないでください。

詳しい使い方、登録内容とSDSはこちらから。



●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●防除日誌を記載しましょう。

本資料は2020年12月現在の知見に基づき作成しています。 2352(24-3)

自然に学び 自然を守る

クミアイ化学工業株式会社

本社：東京都台東区池之端1-4-26 〒110-8782 TEL03-3822-5036
ホームページアドレス <https://www.kumiai-chem.co.jp>